

2022年 7月 10日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌430番 ~恐れなくていいよ~

パウロの祈り②

聖書朗読 使徒行伝9章1~9節

特別賛美 「You Raise Me Up」レーナ・マリヤ

メッセージ 「彼は今、祈っている」

石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番 ~アメイジング・グレイス~

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~喜びがある~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。午後1時～、執事会を行います。

☆今週の祈り会：○早天祈禱会：明朝6時～。◎祈禱会：木曜午前10時半～

◎夜7時半（大和教会祈禱会映像）○準備祈禱会：土曜夜8時～。

★来週の日曜礼拝も4回行います。〈司会：石井秀人兄/祈り：白川達男兄〉

☆今年も半年守られたことを感謝して、上半期感謝献金をお捧げ致しましょう！

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [7/10- /17]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	エズラ9-10	ネヘミヤ1-3	4-6	7-8	9	10-11	12-13	エステル1-2
新約	使徒15:22-41	16:1-18	:19-40	17:1-15	:16-34	18	19:1-20	:21-41
チェック	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「彼は今、祈っている」

～誰でも皆生まれ変わることができる！～

そこで主カ彼に言われた、「立って、『真すぐ』という名の路地に行き、ユダの家でサウロというタルソ人を尋ねなさい。彼はいま祈っている。彼はアナニヤという人がはいってきて、手を自分の上において再び見えるようにしてくれるのを、幻で見たのである」 使徒9章11-12節
あなたがたの中に、苦しんでいる者があるか。その人は、祈るがよい。喜んでいる者があるか。
「その人は、さんびするがよい。あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリブ油を注いで祈ってもらうがよい。信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。」 ヤコブの手紙5章13-15節

金曜日、安倍元首相が撃たれて亡くなられた。この平和な日本での白昼堂々の中での出来事であった。銃社会の米国でも最近一般人をねらった銃の乱射が頻発していたが、この平和の象徴のような日本の中での出来事として、世界中でもこの考えられない出来事に動揺を隠せない状況だった。日本も治安が悪くなったという現象として捉える内容というだけではすまない、社会現象、社会病理が表面化した出来事だったのかもしれない。時の権力者ではなくなった人物に対して、しかし、この犯罪を犯した人物から見たならば、政治家であり、元首相である安倍さんは権力の象徴でもあったと見えたのかもしれない。私たちの心があり得ないような現実として表面化したとも言えなくもない出来事だったのかもしれない。

ステパノの時代、パウロの時代、このサウロと呼ばれていた当時、彼は、異端の道としてレッテルを貼るべき存在とされていた初代教会のクリスチャンたちは社会悪として排除しなければならぬと息巻いていたサウロ。彼は伝統的な神に仕える神の忠実な僕として、その闘志の炎と燃やしていました。時の権力もその身に帯びて、正々堂々と人々を苦しめる張本人となっていました。当時のクリスチャンたちは、生まれたばかりの赤ん坊のような存在だったかもしれませんが。そんな赤子の首を絞めるかのようにして、時の権力を用いて、徹底的なクリスチャン弾圧を行っていきました。

黙示録の表現では「熱いか冷たいかであって欲しい」とあるが、パウロは後者の冷たいという存在だったかもしれぬ。冷酷非道と思えるような迫害者。クリスチャンとはいえ、同胞、同じ国民を苦しめるという道に突き進んでいきました。誰かが彼をとどめられなければ、民族全体を滅ぼしてしまうかもしれぬほどの勢いだったかもしれぬ。

平和の道を誰しも望んでいます。しかし、一旦暴走が始まったら、人間は立ち止ることが難しい生き物なかもしれぬ。そこに主の介入がなされ、彼は祈りに導かれていきました。